




岡谷市史編さん室だより『<sup>しんここうしん</sup>新考古覧』No.15  
 2024(令和6)年 5月-①

岡谷市教育委員会生涯学習課  
 岡谷市史編さん室 編集・発行  
 岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F  
 TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

覧古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること  
 ～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

広報誌などから旧市史<岡谷市史下巻1982(昭和57)年刊行. 編年：昭和20年～昭和53年>以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「病院」です。

西暦	元号	月	岡谷市政のおもなできごと	西暦/月	そのほかのできごと
1985	昭和60	1	健康保険岡谷塩嶺病院が長野県心疾患基幹病院に指定される	1980 / 7	病院群輪番制病院運営費補助事業を6市町村共同で開始
1996	平成 8	7	健康保険岡谷塩嶺病院の緩和ケア病棟が完成	1981 / 4	諏訪地域伝染病施設組合を設立 市立岡谷病院に診療委託
1997	平成 9	4	市立岡谷病院内に 岡谷市訪問看護ステーションを開所	1983 / 2	老人保健法の制定により老人医療制度を変更
2001	平成13	3	市立岡谷病院看護専門学校を閉校	1988 / 2	岡谷市医師会附属准看護学院が竣工
2006	平成18	4	市立岡谷病院と健康保険岡谷塩嶺病院が経営統合し、岡谷市病院事業を設立	1998 / 3	諏訪地域伝染病施設組合が解散
2009	平成21	6	岡谷市夜間成人急病センターを市立岡谷病院内に開設	2000 / 4	介護保険制度が始まる
2010	平成22	4	市立岡谷病院と健康保険岡谷塩嶺病院を施設集約し、新体制診療スタート	2007 / 6	諏訪地区小児夜間急病センターが諏訪市四賀に開設
2014	平成26	4	岡谷市看護専門学校を開校	2008 / 4	後期高齢者医療制度が始まる
			 <p>塩嶺病院の敷地内に専門学校を整備した。1回生22人が2年後の看護師資格の取得を目指して、新たな一歩を踏み出した。</p> <p><b>岡谷市看護専門学校</b>  <small>写真：2024年 市史編さん室撮影</small></p>	2009 / 4	新型インフルエンザの感染拡大 WHOがパンデミック宣言
2015	平成27	10	岡谷市民病院を開院、 市立岡谷病院と健康保険岡谷塩嶺病院を閉院	2018 / 4	国民健康保険が都道府県単位に
			 <p>平成17年度に岡谷市病院統合計画を策定し、経営統合、診療統合などを経て新病院を建設した。 基本理念は「思いやり」</p> <p>詳細はこちら </p> <p><b>岡谷市民病院</b>  <small>写真：2024年 市史編さん室撮影</small></p> <p> <b>岡谷市民病院HP</b></p>	2020 / 4	新型コロナウイルスの感染拡大 緊急事態宣言
				2023 / 5	新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが2類相当から5類に変更
				2024 / 2	岡谷市医師会附属准看護学院の第67期生卒業式・閉校式
				2024 / 3	諏訪地区小児夜間急病センターの運営終了
2016	平成28	10	岡谷市民病院に地域包括ケア病棟を開設		

岡谷市看護専門学校の校歌は、1回生の原案を基に、歌手・作曲家の平尾昌晃氏が作詞作曲したものの。平成27年3月24日に平尾氏を招いて校歌を披露した。

詳細はこちら  

**岡谷市看護専門学校HP**

校歌楽譜はこちら

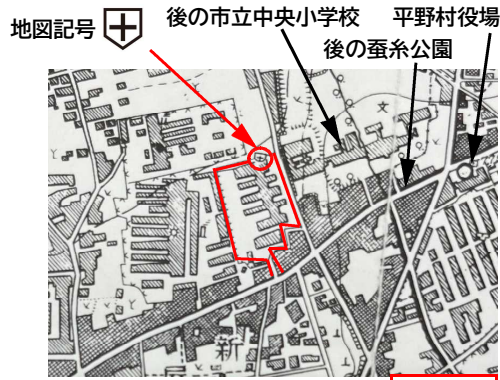
## 岡谷病院



平野製糸共同病院新築落成式  
(大正7年10月22日)

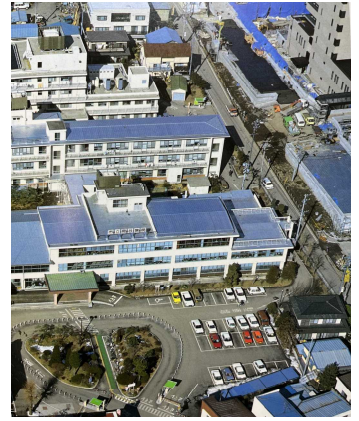
「平野製糸共同病院」(大正7年10月)

明治42年、製糸工場従業員やその家族の診療を主とする共同出資の病院建設に着手。設立加盟者は44工場で、翌明治43年5月に本館と病棟が完成した。



岡谷病院時代の地図

1928(昭和3)年 平野村及其附近圖 1/10000 を部分複写



「市立岡谷病院」

撮影年は不詳であるが、写真右側に建設工事中の現岡谷市役所庁舎が見える

大正15年、平野製糸共同病院が「岡谷病院(私立)」と改称される。昭和4~5年の世界恐慌によって製糸業は経営不振に陥り、病院の維持経営は困難となった。昭和11年に病院理事長から市長に、市営病院にとの「陳情書」が提出された。

昭和12年2月26日、議会において「市立岡谷病院規程」を決議。「組織職制」等の諸規定が3月31日に許可され、4月1日、市立岡谷病院が発足した。

上左右写真：「病院史」1987(昭和62)年 市立岡谷病院発行 口絵写真 および 記事参照 p126、p155、p163、p449

## 塩嶺病院



開院当時(右側建物が本館) 撮影年不詳

- ・昭和26年 結核対策の一環として、厚生省が健康保険長野県診療所の建設に着手
- ・昭和28年 県から経営の委託を受け、「健康保険岡谷塩嶺診療所」として開所
- ・昭和29年 「健康保険岡谷塩嶺病院」に改称

写真出典：「健康保険岡谷塩嶺病院30年誌」1984(昭和59)年3月 健康保険岡谷塩嶺病院発行 p173 および 記事参照 p33



写真出典：「健康保険 岡谷塩嶺病院 30年誌」 撮影年不詳 1984(昭和59)年3月 健康保険岡谷塩嶺病院発行 口絵写真



平成8年9月、県内で初の緩和ケア病棟開設(第1病棟1階に10床) 終末期患者さんへの医療に備えた。

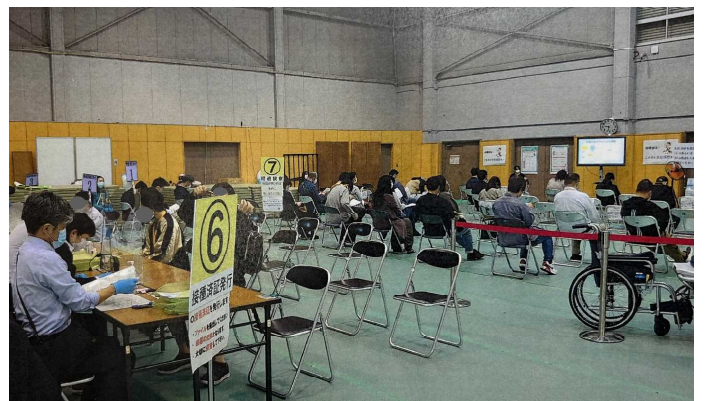
信濃毎日新聞に「最期」見つめてのタイトルで連載で紹介された。

写真出典・記事参照：「創立五十周年記念誌」 2005(平成17)年 健康保険 岡谷塩嶺病院発行 p38

## 新型コロナ対応



新型コロナウイルス感染症第2波に備え、岡谷市民病院が陰圧式エアートントを導入 2020(令和2)年6月1日



新型コロナワクチン接種会場 2021(令和3)年11月 岡谷市民総合体育館